

蒲生干潟の地形調査87 2023年7月

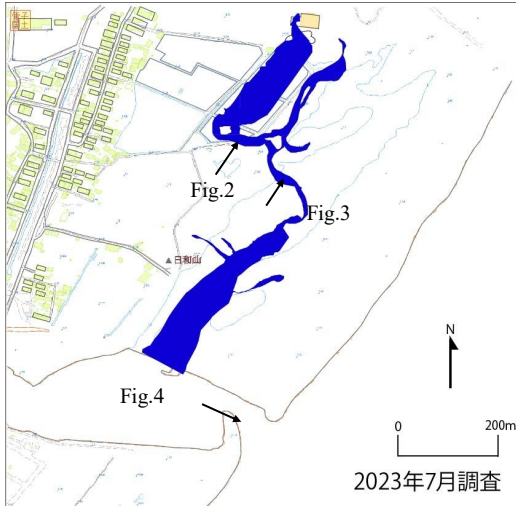


Fig.1 GPS簡易測量結果



Fig.2 潟湖北側の様子（南側からドローン撮影）



Fig.3 水たまりから潟湖への水流



Fig.4 七北田川河口右岸砂州（ドローン撮影）

調査日 2023年7月20日（木）9:20～11:00 ※干潮時刻11:23（潮位21cm）満潮時刻4:12（潮位156cm）

Fig.1は、GPS簡易測量による7月の汀線である。調査前日の19日（水）にまとまった雨が降り、潟湖周辺で水たまりが多数見られた（仙台管区气象台（仙台市宮城野区五輪）で1日あたり57mmの降水量を記録）。6月の調査の際に干上がりが大きかった潟湖北側では水量が多くなっていた（Fig.2□部分）。潟湖周辺の水たまりから潟湖に水が流れ込んでいる箇所が多数見られた（Fig.3）。七北田川河口付近では、右岸砂州が6月の調査の際と形が変化していた（Fig.4）。潟湖最北部は、6月の調査と同様に潟湖が出現していた。

（門脇 駿）